

油脂分解によって、 廃水処理効率アップ

オイルバクターシステム

岩谷義弘さん

森本組(大阪)
環境営業部

大阪市の建設業、森本組(中央区南本町2-1-6)は、12-06-177111-8810)は、特殊な微生物による油脂分解で廃水の処理効率を高める「オイルバクターシステム」を提案している。

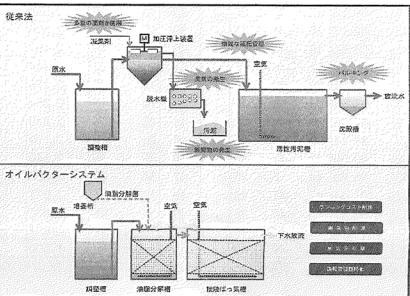
通常の微生物による活性汚泥法では、廃水中に油脂分が多量に含まれる場合、微生物の不活性化や死滅化を招き、トラブルの原因になりやすい。そのため、グリストラップや凝集加圧浮上装置による油脂分の除去が解決策に用いられているが、「処理効果の低さ」

や「悪臭の発生」、多量の薬剤を必要とする「高ランニングコスト」などの問題点が指摘されている。これらの除去方法とは

「高ランニングコスト削減」「悪臭の発生」「薬剤削減」が実現できる。

異なり、同システムでは、水処理メーカーのケイエルプラント(東京都新宿区)が独自開発した特殊強化微生物「オイルバクター菌」を使用する。

「高ランニングコスト削減」「悪臭の発生」「薬剤削減」が実現できる。



「高ランニングコスト削減」「悪臭の発生」「薬剤削減」が実現できる。

「高ランニングコスト削減」「悪臭の発生」「薬剤削減」が実現できる。

「高ランニングコスト削減」「悪臭の発生」「薬剤削減」が実現できる。

環境を改善

凝集加圧浮上装置が不要のため凝集剤や運転管理者に要するコストを削減するほか、オイルバクター菌の働きで臭気を抑制するため、作業環境改善にも貢献する。

導入までの流れは①20日程度の廃水を回収し、同社

現在、全国的な販路拡大に向けてPRに励んでおり、環境営業部課長の岩谷義弘さんは「豆腐工場でもぜひ試してもらいたい」と呼びかけている。